

5 経営課題別の達成状況評価

様式5

【経営課題1：制度の創設に伴う体制の整備】

○評価結果の総括

内容	経営課題全体としての評価結果の総括
国民投票法の創設に対応できる体制の整備を図る	国民投票法の施行に対応した体制の整備ができた。

【戦略1-1：国民投票法にかかる名簿抽出システムの構築】

○戦略と具体的取組の一体的評価

戦略と具体的取組の一体的評価と課題	(※1)	対応方向
具体的取組については、業績目標を達成できたと認識している。今後、システムを管理し、運用に関しての研修も継続していきたい。	ア	制度の説明も含め、区選管を対象に研修を継続実施する。継続的にシステムを管理する。

○戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況

戦 略	戦略の成果・目標達成状況	評価結果(※2)
事務の開始時期を見据え、誤りのない名簿抽出を実施するためのシステム構築を行う。	平成21年度から継続しシステム開発を行い、業務委託業者と連携し進捗状況を管理しつつ完成させた。	B
達成目標(アウトカム)	平成22年5月の法施行時に間に合うようシステムを完成させる。	

○具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況

番号	取組内容	業績目標(アウトプット)	取組実績・目標達成状況	評価結果(※3)	課題	改善策
①	国民投票法の有権者名簿抽出システムを完成させ、運用テストを開始 【23 削除】	22年度当初には運用テストを開始し、あわせて研修及びマニュアルの作成を行う。	有権者名簿抽出システムは完成、運用テストも終了した。10月に各区を対象に制度及びシステムの机上研修を実施した。12月に各区へマニュアルを配布後、システム操作研修を実施した。	②	運用がない中でも、システムを管理していく。	毎年度、初任者研修等で制度及びシステムの研修を継続する。

(※1)

- ◆戦略と具体的取組を一体的評価したうえでの今後の対応方向
 - ア:業績目標を達成し、見込んだ成果も得られており、今後より一層効果的・効率的に取組を実施していくことが必要
 - イ:業績目標が未達成の取組があり、見込んだ成果も得られていないため、取組の改善・見直しが必要
 - ウ:業績目標を達成しているのに、成果が得られていないため、実効性のある取組への見直し・再構築が必要
 - エ:業績目標が未達成であるのに成果が得られており、達成目標のあり方や取組の有効性・必要性の検討が必要
 - オ:環境変化等により、戦略・取組の抜本的な見直しが必要

(※2)

- ◆戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況
 - A:期待を上回る成果が得られている
 - B:概ね期待どおりの成果が得られている
 - C:期待する成果は得られていない
 - D:環境変化等の影響を受け、戦略を遂行する必要性が薄れている

(※3)

- ◆具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況
 - ㊦:目標を大きく上回る達成
 - ㊧:目標を概ね達成
 - ㊨:目標が達成できなかった
 - (i) 取組は予定どおり実施したが、結果として目標を達成できなかった
 - (ii) 課題が生じ予定した取組を実施できなかった、または進捗が遅れている
 - (iii) 環境変化等の影響を受け、取組の優先度が下がり、取組を遂行する必要性が薄れた